

地域につながる、「生きる」に寄り添う「広場」のような、場所でありたい。

# ポランの広場

Vol.  
48

独立行政法人  
国立病院機構 花巻病院 [ 広報誌 ]

2020年6月1日発行

TAKE FREE

桜劇場の開幕



## ❖ 病院理念

当院で一番大切な人は患者さんです。  
寄り添い、想像しながら、ともに前に。

## ❖ 運営方針

1. 公的病院としての役割を担い、精神医療並びに重症心身障害児(者)医療の向上に努めます。
2. 地域に開かれた病院を目指します。
3. 臨床研究と教育・研修・情報発信に努めます。
4. 個々の職員がその専門性を発揮し、質の高いチーム医療を目指します。
5. ムリ・ムダ・ムラのない病院経営を目指します。

## 今回の表紙



## 展勝地

展勝地は、コロナ対策で祭りが中止になり、人がいないが、それにもかかわらず、桜は見事に咲いた。自然は偉大である。

写真：八木深



## 新型コロナウイルス感染症の流行終息と差別の根絶を願う

**新** 型コロナウイルス感染症により、2020年4月9日時点で、世界で147.8万人、日本で476の人が感染し、世界で8.7万人、日本で、85人がお亡くなりになりました。流行の終息には、密集、密閉、密接を避け、交流を8割減らし、感染者の隔離が必要だと言われています。岩手県は幸いにして、4月9日時点で感染者は報告されていませんが、花巻病院では、感染予防のため、面会、外出、外泊を制限させていただいております。

疫病は、ここにも忍びより、内なる差別感情を刺激します。感染対策の最前線で働く医療従事者がタクシーの乗車拒否にあたり、医療従事者の子どもが保育園への登園を拒否されたりする事例が全国では確認されています。

2020年3月18日に、WHO は、「新型コロナウイルス蔓延中の精神保健および心理社会的配慮 Mental health and psychosocial considerations during the COVID-19

ともに前に。

寄り添い、想像しながら、

outbreak」という一般市民向け文書を出しました。しかし、報道もされず、医療従事者ですら、その存在はほとんど知られていないので、一部抜粋翻訳し紹介します。

① 新型コロナウイルスは、どの国でも、どの地域でも感染します。病気を特定の国や民族に関連付けしないでください。どの国からきてどの国にいても感染しているすべての人に共感的であってください。新型コロナウイルスに感染している人は、何も悪いことをしていませんし、われわれの支援と思いやりとやさしさを受けるに値します。

② この病気を持つ人のことを、「新型コロナウイルス事例」、「犠牲者」、「新型コロナウイルス一家」、「病人」などと呼ばないでください。その人たちは「新型コロナウイルスを持つ人」「新型コ



ロナウイルスの治療を受けている人」または「新型コロナウイルスから回復しつつある人」であり、新型コロナウイルスから回復した後も、仕事や家族や愛する人たちとともに、その人の生活はつづいていくのです。偏見を少なくするために、人を新型コロナウイルスによって定義しないことが重要です。

④ 自分自身を守り、他の人を支援しましょう。他の人が必要としているときに手助けをすることは、支援を受けている人にとっても、援助をしている人にとっても、ためになります。たとえば、何か特別な手伝いを必要としているどうか近隣の人や地域の人に電話をかけ、確かめましょう。一つの地域で一緒に働くことで、新型コロナウイルスと一緒に立ち向かう連帯感が作られます。

⑥ 地域で新型コロナウイルスに感染した人を支援している介護従事者や医療従事者に敬意を払いましょう。命を救い、あなたの愛する人を安全に保つために、彼らが果たしている役割に感謝しましょう。

差別を乗り越えるには、想像力が必要です。自分や自分の家族がして欲しくないことは、しない、自分がして欲しいことを隣人にもする。我が国が、ハンセン病をもつ皆様に対して行った差別の歴史に学び、同じ過ちを繰り返さないことが必要です。危機を乗り越えるには、連帯が重要です。

花巻病院は、「寄り添い、想像しながら、ともに前に。」進んでゆきたいと思います。

✍ 八木 深：花巻病院長

 伊藤 文晃：花巻病院第一診療部長

**令** 和2年4月東北大学病院から赴任しました。花巻病院には平成24年度から25年度にかけて勤務していましたが、今回、八木先生のもとでいろいろと勉強したいと思い戻ってまいりました。

来て早々に風邪を引いてしまい、COVID-19が広がる中、県内初の感染者を当院からは絶対に出さないぞという強い思いのスタッフ皆様には、多大な不安を与えてしまい申し訳ございませんでした。今回の赴任を機に、盛岡からの通勤生活も始めました。長らく徒歩数分の職場近くに住んでいたのまだ慣れませんが、楽しめるよう工夫しているところです。

当院は、拘束ゼロを目指す「かけはしプロジェクト」、訪問により地域で支える診療、当事者研究、オープンダイアログなど、先駆的な取り組みをしている魅力あふれる病院です。

また、スタッフの皆様は患者様に寄り添いながら親身になって治療やケアにあたっており、職種間のコミュニケーションは良好で、理想的なチーム医療が実践されています。

さらに、同門の岩井先生が私財を投じて完成させた本格的なトレーニングルームもあります。大自然に囲まれて、キジの鳴き声を聞きながら、日々癒されています。このような恵まれた環境で仕事ができる

とても幸せです。

しかし一方で、常勤医が定着せず、病棟には空床が目立ち、電子化が進んでおらず業務には無駄が多いです。関連病院の間では、孤立した閉鎖的な病院と見られているように思われ、情報発信も大切です。

様々な課題がありますが、この地域の患者様に適切な医療を提供し、地元医療機関の先生方とさらに連携し、スタッフ皆様にとってより働きやすい職場にしていけるよう、少しでもお役に立てればと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。



FUMIAKI ITO

ご挨拶

## 花巻病院に赴任して

KIYOMI NAKANO



 中野 喜代美：花巻病院事務部長

**2** 020年(令和2年)4月に弘前病院から花巻病院に赴任してまいりました事務部長の中野です。

私の出身地は、青森県つがる市(旧木造町)で、青森病院(旧岩木病院)に採用されました。松丘保養園に転勤後、青森県内を転々とし、平成26年4月には盛岡病院に転勤し、また青森県内に戻りました。

青森県内を出たのが、前々回の盛岡病院に1回(3年間)だけなので、まさに、生粋(?)の青森県人です。

なので、言葉が「津軽弁」で、何を言っているのか理解できないと思いますが、50年以上使用している言葉なので、直すことはできません。

聞き取れない事とか、何を言っているのかわからないときは遠慮せず、「共通語でもう一回言って!」と気軽に言ってください。お願いします。

花巻病院は、医師不足が大きく影響し経営状況は厳しく、「経営が厳しい病院」として平成30年度から『重点改善病院』に指定されています。

いろいろな改善策を計画していましたが、令和元(平成31)年決算も赤字が見込まれ、令和2年度

も引き続き、『重点改善病院』となってしまいました。院長はじめ、職員の皆さんが患者数増などに向けて、懸命に努力を続けてきており、前年度よりは少しずつ結果も現れるようになってきています。

病院の雰囲気も急性期病院のような「ガチャガチャ」していなくて、良い意味で「アットホームで明るく、ゆっくりしている」と感じています。

精神科中心の病院という特色があり、分からない部分が多く戸惑うこともありますが、職員の皆さんと一緒に花巻病院の発展に尽力してまいりますので、ご支援とご協力をお願いします。

昨年10月5日(土)に第4回岩手県司法精神医学セミナーを開催いたしました。この会は司法精神医学に関するさまざまなテーマを取り上げて、毎年行っているものです。今回も岩手県はもとより各県から、医療、福祉、司法などさまざまな領域の方々にご参加いただきました。

今回は「グレーゾーン事例」をテーマに事例検討会と特別講演が行われました。事例検討会は平和台病院院長 伊藤欣司先生から事例の提示をいただくとともに、コメンテーターとして千葉県精神科医療センター・静岡県立こころの医療センター名誉院長 平田豊明先生をお招きし、ケースをもとにグレーゾーンに関する検討を行いました。臨床場面で出会うさまざまな課題めぐって、両先生そしてフロアの参加者のみなさまと、深く熱心な討議が行われました。

後半は当院 八木深院長の講演に続き、平田先生による特別講演「精神科救急で遭遇するグレーゾーン事例について」が行われました。措置入院制度を中心に、グレーゾーン事例への対応、そして新たな措置入院制度への期待と課題についてのお話をいただきました。

## topics 01

### 第4回 司法精神医学セミナーを開催して



平田豊明先生による特別講演

✎ 山村 卓：主任心理療法士

精神科医療の現場においては、とても重要なテーマですが、平田先生のお話は分かりやすく、そしてとても示唆に富んだ内容でした。

昨年度は当院が事務局を担当して司法精神医学会を6月に開催したところでしたが、それを受けるかたちで機運も高まり、より充実したセミナーとなりました。また折しも、今回のセミナーが行われたのは、日本でラグビーワールドカップが開催され、日本代表が世界の強豪を相手に勝ち進んでいる時期でもありました。精神科医療に携わる私たちも、まさに“ONE TEAM”として臨んで行かねばという思いを強くいたしました。

ご多忙のなか、事例を提供してくださいました伊藤欣司先生、特別講演をしてくださいました平田豊明先生、そしてご参加いただきましたみなさまに深く感謝いたします。



ご来場ありがとうございました

## topics 02

### 病院行事 病院文化祭を開催して



✎ 成田 圭甫：庶務係

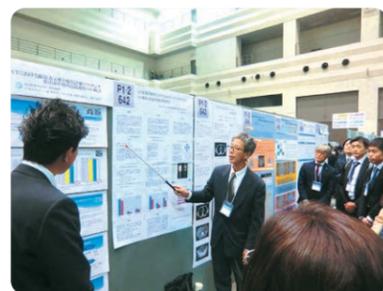
花 巻病院の一大イベントである病院文化祭。当日はあいにくの雨でしたが、老若男女問わず、多くの方々に足を運んでいただきました。そのおかげで雨を吹き飛ばすような盛り上がりを見せた文化祭になりました。準備期間から当日まであっという間に時間が過ぎていき、各グループ当日に向けて一生懸命準備を進めていきました。

今年の文化祭は毎年恒例になりました中央みのり幼稚園園児とぴっころ保育園園児の元気いっばいで可愛らしいお遊戯からスタートしました。その後に花巻中学校の吹奏楽やバンド演奏により、盛り上がりを見せた体育館。当院療育指導室職員による外来ホールや展示グループによる中央廊下の飾りつけ。当院職員並びに外部の団体による模擬店など病院の至るところで終始文化祭を堪能することができました。

私自身今回は事務局として文化祭全体の運営を中心に準備を進めていきました。主に広報活動、予算案の作成及び文化祭の総務的な仕事をしておりました。昨年度とは違い、全体を見ながら進めていくことの難しさを痛感しました。その中でも事務局を始めとする文化祭実行委員会のメンバーの方々に助けていただきながら無事に役割を果たすことができました。

当院の文化祭は代々受け継がれている大事な行事の1つであります。この歴史ある病院文化祭に携わることができ、大変嬉しく思います。そしてこのような行事を開催することは、より地域の方や外部の方に花巻病院を知ってもらえる良い機会だと考えています。これからも継続しながら、さらに盛り上げられるような文化祭を作っていければいいなと思います。





国立病院総合医学会の会場風景

topics  
03

## 第73回 国立病院総合医学会に参加して

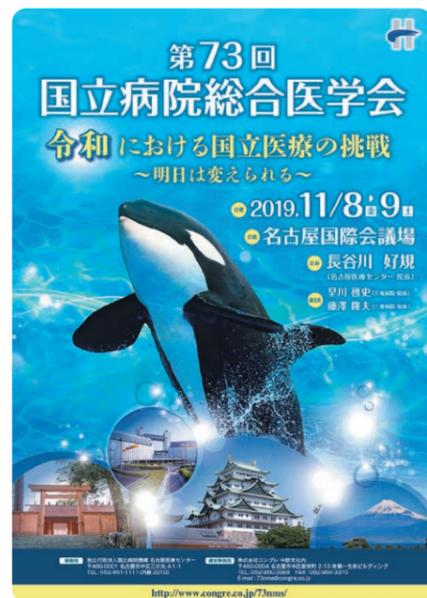
齋藤 浩二：副診療放射線技師長

去る11月8日、9日名古屋市において第73回国立病院総合医学会が開催され、私は放射線・画像診断CTの分野で「CT装置評価用システムWAZA-ARiv 2を用いたCT被ばく線量管理の有用性」というテーマのポスター発表を行いました。当院のCT装置は使用から18年経過しており、経年変化による被ばく線量の増加が懸念されることか

ら、従来であればファントムや線量計が必要である被ばく線量測定が、このソフトウェアを用いることにより実際に測定することなく計算のみで算出が可能となります。ただ10月にCT装置が更新したため装置側からより確実な数値が提供されることになりました。また今回の発表は、2020年に施行される医療放射線の安全管理に関連するもので、当院においてはCT装置がこれに該当するため、対応の準備を進めているところです。

今年の学会テーマは「令和における国立医療の挑戦～明日は変えられる～」でしたが、放射線分野においても従来の技術を発展させるための方法や最新機器による更に一歩進んだ手技の研究といった発表が多かったように感じられました。また、最近進歩が著しい分野である画像再構成法において逐次近似法を用いた被ばく線量低減の発表が多かったのも特徴的であると思われました。

普段は一人勤務ということもあり、なにか問題が起こった場合でも相談するということがなかなかできませんでしたが、今回の医学会に参加していた他施設の方に色々と意見を聞くことができたのは大きな収穫だったと思います。今回の参加で得た知見を日々の業務に活かしていければと思っています。



第73回 国立病院総合医学会ポスター

topics  
04

## 医療安全相互チェック「セーフティネット分野版」(精神科医療)を実施して

野地富貴子：医療安全管理係長

2019年度より精神科にかかる医療安全相互チェックが花巻病院・下総精神医療センター・久里浜医療センターの3病院で1年ごとに1グループ1病院のチェックを実施することとなりました。今年度、当院はチェック対象病院となり、チェック実施病院が下総精神医療センターでオブザーバーが久里浜医療センターでした。

当初、精神科にかかる医療安全相互チェックは初めての事で戸惑いと不安がありました。各病院の医療安全管理係長とメールや電話で相談しながら進めたことで、滞りなく準備ができました。相互チェックは、医療安全対策などの情報共有や日頃の悩みを相談する場となり、効果的な相互チェックとなりました。また、



医療安全管理係長間の関係も深まり、継続的な情報交換をすることにも繋がりました。

下総精神医療センター、久里浜医療センター、関東信越グループの医療安全相互チェック関係者様、花巻までお越し頂き有難うございました。今後もよろしくお願い致します。

### TOPICS | 職員紹介



今回、新たな仲間になった方々を紹介します。不安と期待を持って日々業務に励んでいる事と思います。異動者、採用者を温かくご指導よろしくお願い致します。

① 出身地 ② 趣味 ③ 抱負



看護助手  
安藤明美

令和元年8月付 採用  
① 岩手県花巻市  
② ソーイング

③ 以前、障害児施設で働いておりました。また同じような仕事ができ、少しでも役にたてればと思っています。分からない事は、そのままにせず、聞きながら皆様のご迷惑にならないようにやっていきたいと思っています。よろしくお願い致します。



栄養士  
大槻博人

令和元年8月付 採用  
① 宮城県角田町  
② 料理・旅行

③ 8月から勤務している大槻博人と申します。最初は慣れない業務やトラブルが続き不安でしたが、多くの部署の皆様のおかげで頂き、とても感謝しております。患者さんの入院生活の支えになる食事が提供できるように努力していきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



事務助手  
大橋千夏

令和元年10月付 採用  
① 岩手県紫波町  
② 刺繍・キャンプ

③ 昨年10月よりお世話になっております事務助手の大橋です。3月からみずき病棟へ配属となり、あっという間に2ヶ月が経過しました。まだまだ不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけする事もありますが、早く仕事を覚えられるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



事務助手 **令和元年12月付 採用**  
**平野 博子**

- ① 岩手県花巻市
- ② 特になし

③ 昨年12月より、庶務係で事務助手として勤務しています。職場の皆様の優しいご指導を受け、徐々に仕事にも慣れてきておりますが、今後もミスがないよう気を引き締め業務に当たりたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



副看護部長 **令和2年4月付 異動**  
**舘澤 一枝**

- ① 岩手県宮古市(旧川井村)
- ② 食べる事

③ 4年ぶりに岩手県に戻ってくる事ができ嬉しく思っています。精神科看護に携わるのは初めてで、日々学ぶ事が多くありますが、少しでも早く、皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



看護師長 **令和2年4月付 異動**  
**野又 淳**

- ① 岩手県花巻市
- ② バイク・スノーボード

③ この春よりお世話になっております野又です。花巻はアットホームな病院なので、その輪の中に戻れて嬉しく思います。皆さんの力になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。バイクとスノボが大好きなので興味がある方は声をかけてください。



専門職 **令和2年4月付 異動**  
**佐藤 正彦**

- ① 秋田県秋田市
- ② あつもり、スポーツ観戦

③ 早くこちらの病院、この地域に慣れ、楽しく仕事しながら、病院運営に寄与できればと思っております。よろしくお願いいたします。



看護師 **令和2年4月付 異動**  
**佐藤 永太**

- ① 福島県相馬市
- ② 散歩・旅行

③ 宮城病院から異動になりました佐藤永太です。精神看護を学び、様々な知識や技術をこの花巻で吸収していきたいです。現在はコロナの影響で遠出は出来ませんが、収束したら花巻市や岩手県内を旅行していきたいです。特に腰痛に効く温泉を探しています。(笑)新しい病院で、まず仕事に慣れ、生活に慣れと懐かしい所をお見せするかも知れませんが、今後ともよろしくお願いいたします。



薬剤科長 **令和2年4月付 異動**  
**山田 健**

- ① 北海道札幌市
- ② アウトドア

③ 4月1日より仙台医療センターから赴任した、薬剤科長の山田と申します。精神科の病院は初めてですが、精神科領域の薬物治療方法の多くを学び、早く皆様に貢献できるように頑張りたいと思います。



医化学主任 **令和2年4月付 異動**  
**柳沢 和律**

- ① 岩手県紫波町
- ② 楽器演奏・モータースポーツ

③ 以前は仙台医療センターで勤務していました。これから色々ご迷惑をおかけする事があると思いますが、微力ながら頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



業務班長 **令和2年4月付 異動**  
**氏家 誠之**

- ① 北海道せたな町
- ② 釣り

③ 4月の異動により業務班長として着任しました氏家と申します。私は難聴でご迷惑をおかけする事が多々あると思いますが、一生懸命業務にあたりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



庶務係長 **令和2年4月付 異動**  
**栖原 卓也**

- ① 宮城県富谷市
- ② 特になし

③ よろしくお願ひします。



看護師 **令和2年4月付 異動**  
**千田 菜利奈**

- ① 岩手県北上市
- ② 映画鑑賞・音楽鑑賞

③ 今年度から、地元の病院で働くことができ、とても嬉しく思っています。今年で看護師として3年目の新米ですが、看護師として、思いやりのある看護を第一に考え、成長していきたいと思ひます。また、日々の関わりを通し、患者さんと少しずつ信頼関係を気づいていきたいと思ひます。



心理療法士 **令和2年4月付 採用**  
**坂本 蒼**

- ① 岩手県盛岡市
- ② おいしいご飯めぐり・音楽を聴く事

③ 今年の4月より花巻病院で勤務することになりました坂本蒼です。まだまだ分からない事だらけですが、皆さんに教えてもらいながら少しずつ仕事を覚えていき、病院に貢献できるようになりたいです。よろしくお願いいたします。



看護師 **令和2年4月付 採用**  
**吉田 友和**

- ① 岩手県花巻市
- ② ドライブ・買い物・子供と遊ぶ・メルカリ

③ 今年度から、新採用で入職した吉田友和です。5年間の学校生活を終え看護師になることができ、希望していた花巻病院に就職することができました。今後の抱負は、精神科の専門病院で経験を積み、たくさんの事を学び、精神看護の理解をより深めていけるように努力していきたいと思ひます。皆さんよろしくお願いいたします。



看護師 **令和2年4月付 採用**  
**澤口 美優**

- ① 岩手県二戸市
- ② 読書・映画鑑賞

③ 今年の春より花巻病院さくら病棟で勤務することになりました。早く仕事を覚えて一人前になれるように努力していきます。患者さんに寄り添い信頼し合えるよい関係を築くことができるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



看護師 **令和2年4月付 採用**  
**柴田 詩織**

- ① 岩手県陸前高田市
- ② 野球・映画鑑賞・ドライブ

③ 今年からみずき病棟に配属になりました柴田です。初めての業務で分からないことだらけですが、先輩看護師のみなさんが熱心に指導してくださり、充実した日々を送っています。まだまだ知識も技術も足りず未熟ですが、早く仕事を覚えられるよう頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



看護助手 **令和2年4月付 採用**  
**桐田 康平**

- ① 岩手県花巻市
- ② ドライブ・ゲーム・音楽を聴く事など

③ 4月1日付で採用になり、かなん病棟に配属になりました。患者さんとの会話や日常生活を支援することのやりがいを見つけることが出来ました。不安はありますが精一杯がんばります。



看護師 **令和2年4月付 採用**  
**佐藤 充**

- ① 岩手県一関市
- ② ライブ、フェスへ行くこと・ラーメン食べ歩き

③ まだ分からないことが多いですが、頑張っていきたいと思ひますので、今後ともご指導よろしくお願ひします。



看護師 **令和2年4月付 採用**  
**齋藤 隆英**

- ① 岩手県花巻市
- ② 体を動かすこと・芸術鑑賞・旅行・食べ歩き

③ 専社や総合福祉施設で働いた後、どうしても夢を捨てきれず、看護師を志しました。また、以前から精神疾患や、その歴史に対して強く興味があり、この春から希望していた花巻病院で働かせていただく事となりました。生きにくさを抱えた患者さんや家族さんと寄り添い、一日でも早く社会復帰ができるよう、日々関わりを大切にし、学び続けていきたいです。



看護師 **令和2年4月付 採用**  
**切田 ゆきの**

- ① 岩手県北上市
- ② 絶叫系アトラクションに乗ること

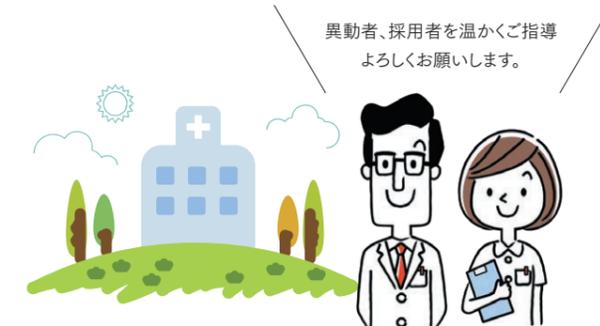
③ こんにちは！はじめまして、北上に住んでいます。家には、犬が1匹、うさぎ3匹、インコ1羽がいて毎日とてもにぎやかです。笑顔と人との出会いを大切に頑張っていきたいと思ひます。これから、どうぞよろしくお願いいたします！



一般職員 **令和2年4月付 採用**  
**菊地 望**

- ① 岩手県奥州市
- ② テレビゲーム

③ 4月から新採用で花巻病院に配属になりました医事係の菊地望と申します。様々な業務を覚えることに必死な毎日ではありますが、病院へ少しでも貢献できるように努力し、自身の成長にも繋げていきたいです。よろしくお願いいたします。





## 地域支援室のご案内

**地** 域支援室は、病院の正面玄関を入ってすぐの左側に位置しており、待合室とも近いことから、アクセスがしやすい場所です。現在、精神保健福祉士5名、看護師4名が在籍しており、部屋のスペースの割合に比較すると職員の割合が多く、少々窮屈な感じも否めませんが、職員同士のコミュニケーションがとりやすいという利点もあり、雰囲気の良い部署です。

地域支援室は、患者様及びそのご家族等に対する医療及び福祉に関する相談や訪問による生活支援を行うこと、医療及び保健、福祉等の関係機関との密接な連携により、患者様及びご家族等が満足できる適切で質の高い医療福祉サービスを提供することを目的としています。主たる業務は「医療福祉相談」、「地域医療連携」、「訪問支援(訪問看護)」が3本柱となっています。

「医療福祉相談」では、患者様やご家族の相談窓口として、療養や生活にまつわる様々な相談に対応しています。相談内容は、経済的なこと、制度やサービスに関すること、家族関係や就労に関するこ

となど多岐にわたります。相談では、共に考える姿勢を大切にしています。また、入院患者様の退院に向けてのかかわりも大切な役割となっています。

「地域医療連携」では、受診相談や新患予約をはじめ、当院と地域の医療機関、関係機関をつなぐ病院の窓口としての役割を担っています。地域の中にある病院として、そして、地域に開かれた病院を目指して連携に努めています。

「訪問支援」では、患者様やご家族が安心して地域生活を送ることができるよう、住まいの場に訪問し、療養や生活に関する相談と支援にあたっています。住まいの場に訪問させていただくという姿勢を大切に、患者様に寄り添った支援を心がけています。

以上のように「相談」、「連携」、「訪問」という機能を十分に発揮していけるよう、今後も研鑽を積みながら業務にあたっていきたいと考えています。

## 精神科 専門療法のご案内

### 01 精神科デイケアについて

当院では、精神疾患の受療中で、比較的通院・服薬ができていたり、主治医がデイケア利用の必要性を認めている方を対象に精神科デイケアを開設しています。開所日は平日の9時30分から15時30分までの1日利用制で、専属の心理療法士、看護師を配置しています。デイケアでは、主として集団活動を通じて他人との適切な距離の取り方や疾病との付き合い方を学ぶ社会参加コースや就労支援コースとして、近隣の作業所やハローワークに赴き、復職への準備プログラムも実施しています。



### 02 精神科作業療法について

当院では、作業療法士を複数名配置しており、精神疾患等を有する方の日常生活或いは諸活動をサポートすることで回復させる治療を行っています。「作業療法(OT)」は多岐にわたります。日常生活に特化したものから、対人コミュニケーション、社会復帰、対象者に合わせたプログラムを実施します。



### 03 精神科訪問看護について

当院では、専門スタッフ(看護師・精神保健福祉士)が精神疾患をお持ちの方や、心のケアが必要とされている方々を対象に、直接ご自宅や入所施設にお伺いし、生活上の相談をお受けしたり、助言・援助などのトータルサポートを包括的に実施しています。

### 外来診療について

- 外来受診は、予約制となります。
- 新患予約受付については、地域支援室(内線520)までご連絡願います。
- [受付期間] 平日(土・日・祝日・12/29~1/3を除く) 9:00~17:00
- 予約後の日時変更については、平日15:00~16:00にご連絡願います。

### 編集後記

私がこちらの病院へ赴任してから初めての広報誌をようやく完成させることができました。現在は新型コロナウイルスの影響で、様々な場面が通常と異なる状況に置かれておりますが、この困難を乗り越えて当院の目的を果たすべく努力する職員一同の姿を今後もお伝えできればと思っています。

【広報委員・S】

